



# みんなの がっこうの どうぶつ

資料特集号



2014年4月下旬  
資料特集号

発行責任者：公益社団法人 栃木県獣医師会 南支部 学校飼育動物委員 すずき しげゆき  
☎0285(41)0323 fax0285(41)0322  
電子メール [suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)



## この号の内容

- 1 高病原性鳥インフルエンザの現状
- 2 高病原性鳥インフルエンザの症状
- 3 具体的な対策

## 1. 高病原性鳥インフルエンザの現状



ニュースでも報じられご存じのことと思います。熊本県で高病原性鳥インフルエンザが確認されました。

処分や移動禁止などの迅速な対応がされ、現在のところ、新たな感染や野鳥でのウィルスの存在の確認はない状態です。新たな感染が確認されなければ、5月8日には規制が解除される見通しです。

今回の高病原性鳥インフルエンザは、明らかな根拠はありませんが、韓国からの渡り鳥によってもたらされたのではとの説があります。

渡り鳥のルートにはいくつものルートがありますが、もしウィルスを持った渡り鳥が、シベリアに向かうルートに乗って移動することがあれば、今後、高病原性鳥インフルエンザの発生は北上するのではないかとの憶測もされています。

油断せず、衛生管理を徹底されますことをお願い申し上げます。

## 2. 高病原性鳥インフルエンザの症状

<データ>

- ・潜伏期間 3～10日くらい
- ・食欲の低下、飲水欲の低下、羽毛の逆立ち、沈鬱(ちんうつ)
- ・顔面肉冠の浮腫(むくみ)⇒画像上段参照
- ・脚部の浮腫⇒画像中段参照
- ・出血斑もしくはチアノーゼ⇒画像下段参照
- ・産卵の停止、
- ・呼吸器症状、ゼーゼー呼吸
- ・下痢
- ・神経症状
- ・突然死
- ・等々症状は多様



画像は[独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所](#)のホームページより転載

### 3. 具体的な対策

飼育舎の周りに、餌が散らばっていると、野鳥が集まってきます。

餌が散らばらないようにして野鳥の接近を防いでください。

生活水から、感染が広がります。

野鳥の侵入を防ぎ、水は毎日交換してください。



死亡している鳥を見つけた時は、直接接触せずに飼育舎から出し、担当動物病院や家畜保健衛生所に連絡

#### A. 保護者に対する説明

「学校の飼育動物は閉鎖された環境にあり、今の時点で学校の鳥が感染する可能性は低い。ウィルスを持った渡り鳥が感染源と推測されているが、渡り鳥に対する対策は実施している(実施する予定だ)からご安心ください」

#### B. 児童に対する説明

「今飼っている鳥たちは元気(獣医師に診てもらえるとよい)だから、病気にならないようにしっかりとお世話してあげましょう。」

以下の点に注意し、出来ることを実施してください。

B-1. 健康状態観察の徹底・・・症状がないかをチェック項目を決めて観察し、日誌に記録する。

B-2. 野鳥との接触、飼育小屋への侵入を防ぐ・・・屋根のない庭には出さない。金網(2 cm間隔以下の目)で小屋の周りを覆う。

B-3. 衛生管理の徹底・・・一日一回は必ず掃除して、糞が乾燥して舞い上がらないようにする。

B-4. 飼育舎に出入りするとき、靴の裏を消毒する(別記参照)・・・オスバン、ベンザルコニウム、ピューラックス、キッチンハイターなどをバットに入れて、飼育舎に入る時、飼育舎から出るときに靴(長靴)の裏を消毒。

B-5. 手洗い、うがい・・・飼育舎清掃後、手洗い、うがいを徹底する。

B-6. 異常な鳥を発見した場合は、動物病院や家畜保健衛生所に連絡・・・鳥に直接接触せず、動物病院や家畜保健衛生所に連絡する。

#### <別記>

★オスバン、ベンザルコニウム⇒**手指の消毒に向いている**。100 倍～200 倍に希釈したものが消毒に推奨されている。1000 倍の噴霧での使用でも効果がある。

★ピューラックス⇒**靴(長靴)の裏の消毒に向いている**。ピューラックス(次亜塩素酸ナトリウム 6%) 約 6 ccに対して、水 2ℓで使用。

★キッチンハイター⇒**靴(長靴)の裏の消毒に向いている**。キッチンハイター(次亜塩素酸ナトリウム 濃度不明・記述なしの場合)付属キャップ2杯に対して、水 5ℓで使用。

注)小学校で速やかに対応しやすいように、具体的な商品名をあえて記載しました。各方面にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、趣旨をご理解いただき、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

**高病原性  
鳥インフルエンザ  
のご質問は  
ありませんか?**

鳥インフルエンザに関する、不安、疑問などもお寄せください。

発行責任者までご連絡ください。

[suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)



公益社団法人 栃木県獣医師会  
Tochigi Veterinary Medical Association

公益社団法人 栃木県獣医師会  
学校飼育動物委員会

〒320-0032  
栃木県宇都宮市昭和1-1-23

☎0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman\\_02.html](http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman_02.html)